

平成26年度もはや上半期が過ぎました。長野県南木曾町や広島市などで大規模な土砂災害が起こり、9月末には御嶽山が噴火するなど、各地で甚大な自然災害が起き、数多くの人命が失われました。越美山系砂防事務所管内では、幸いにも人命に関わる被害はありませんでしたが、南木曾町や広島市及び御嶽山の災害に職員を派遣し、被害や降灰状況の調査、応急復旧などに尽力しました。

御嶽山噴火で降灰調査を実施

全国の砂防マンと議論を深める ～砂防研究報告会に参加～

9月27日の御嶽山の噴火に伴い、国は土砂災害防止法に基づく緊急調査に着手するための調査として、降灰調査を行い、当事務所からTEC-FORCE隊員として派遣された三浦副所長と白木調査課長が、28日に岐阜県側の胡桃島（くるみしま）登山口、日和田（ひわだ）登山口において現地調査を行いました。また、10月2日には岩田出張所長、高居経理係長、高野技官が、土石流発生時に保全対象となる集落やネックとなる橋梁の確認を行いました。

第26回砂防研究報告会が東京都千代田区の砂防会館で10月1日と2日に開催されました。本会は、全国各地で実施されている砂防関係の調査・研究の成果を活用して、砂防技術の発展を図ると共に、現場及び研究担当者の交流の場とする事を目的としており、当事務所からは野田調査係長と伊藤設計係長が参加しました。野田係長は「土砂災害への警戒・避難の自治体支援について」、伊藤係長は「土石流対策の設計等における技術的な課題と対応について」という課題で、他の地方整備局や自治体の砂防担当職員及び土木研究所の研究者と議論を行いました。



日和田側から見る噴火状況

降灰状況(薄く覆っています)



分科会討論の様子

鋼製部材が宙を舞う =大蔵谷=

地道な工事をコツコツと =整備工事=

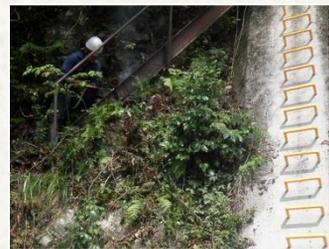
揖斐川町椋原（かしはら）地先で工事を進める、大蔵谷（おぞうたに）第1砂防堰堤工事（施工：西濃建設株）では、右岸側の鋼製砂防堰堤の組立作業を行いました。

当事務所が管理する砂防施設の機能を維持するため、小規模な補修を行う揖斐川砂防出張所管内整備工事（施工：揖斐昭和建設株）では、砂防施設からの転落などを防止するための安全柵や施設管理用の通路等の補修を行いました。本県市根尾能郷（ねおのうごう）地先の根尾西谷川（ねおにしたにがわ）砂防堰堤に設置されていた管理用階段は、年月の経過により鋼材が腐食し、雪の重み等で傾いてしまい、再設置が必要となりました。しかし、鋼製階段を再設置するための工事用進入路が確保出来なかったため、新たに昇降ステップを設置し、既設の階段は切断し人力で搬出するなど、人知れず地道な工事をコツコツとこなし、砂防施設の機能維持に貢献しています。

今回施工する鋼製砂防堰堤は、格子形-2000C（株神戸製鋼所）で、部材の最大重量が4t以上あり、部材を組み立てるのに50t吊りのラフタークレーンを使用して行いました。組立の様子は施工技術研修として、岐阜・西濃地区の若手技術職員に、巨大な部材が宙を舞う壮観な作業風景を見学していただきました。



工事内容の説明



既設階段の切断状況
(写真右部が新設置のステップ)

カヌー・ジャパンカップが開催される

揖斐川町はぎふ清流国体でカヌー競技が開催された「カヌーの町」でもあります。10月3日～5日に揖斐川町上野において、カヌー・ジャパンカップが開催されました。2本のポールの間を通過していくスラロームと、流れの激しい川を一気に下るワイルドウォーターで競われました。



スピードを出して下る選手



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp